

リーグ代替大会 感染症対策ガイドライン

① 人数制限のお願い

| | 男子 | 女子 |
|--------------|----|----|
| 選手 | 8 | 4 |
| 看的 | 2 | 2 |
| 介添え | 1 | 1 |
| 的中を記録する係 | 1 | 1 |
| 相手校のビデオ監視係 | 1 | 1 |
| 射場からの場を撮影する係 | 1 | 1 |
| 予備 | 1 | 1 |
| 計 | 15 | 11 |

代替大会において道場に集まる人数を極力減らすために、学連のほうから最低人数の目安を提示していきたく思います。上記の表はその案です。

※看的二人のうち、一人はビデオ係

※上記の表のパターンではビデオ係三人を想定

※コーチ、監督などの人数はここでは考慮に入れておりません。

※コーチ、監督の観戦について、禁止することはございませんが、最小限でお願いいたします。

※看的、介添え、予備の四人は、補欠の選手四人が担当する

※予備は他の仕事に欠員がでたときに対応する係

② 矢、矢拭き布について

矢取りや矢返しはなるべく矢の持ち主をお願いしたいです。今回のリーグ代替大会では的中の確認が終わり次第、選手が矢取りに行く時間の余裕を確保することは十分に可能だと考えています。課題としては選手が巻き藁をひく時間が削られてしまうことです。

矢取りの際に使用する矢を拭く布は各自のものをあらかじめ決めるか、持参をお願いしたいです。

これらは共有物を極力減らすべきという観点からのお願いです。

③ マスク着用の場面について

行射中を除いては原則としてマスクの着用をお願いしたいです。

行射中のマスクの管理は各自で、マスクが顔に接する面を内側に折りたたんで管理をお願いします。

飲食の際は外しても構いませんが、飲食の機会を最低限にしてください。

④ 矢声、応援などの発声について

インカレでは発声禁止となっているので、リーグ代替大会でも矢声、応援は禁止します。

リーグ代替大会では鳴き看を禁止して全体的看によっておこなうものとします。(看的が密室状態の大学も存在するために、看的へ交代してくる人への配慮のため)

⑤ 弓道部員または部員の接触者がコロナウイルスに感染、または感染の疑い

がある場合について

1.

毎週の、大会前の一週間以降に 37 度 5 分以上の発熱があった場合、東京都学生弓道連盟までそのことを報告してくださいようお願い申し上げます。

大会当日までに発熱者が新型コロナウイルス感染症に感染していない事実が確認されなければ、発熱者が所属する大学から立ち合いを他大学に派遣すること、その大学の道場に他大学の部員を立ち合いとして受け入れることを禁止します。

2.

大会当日の朝も部員各自での検温をお願いします。その際に 37 度 5 分の発熱が確認された場合、東京都学生弓道連盟までそのことを報告してくださいようお願い申し上げます。なおその場合は、その大学から他大学への立ち合いを派遣すること、他大学からの部員を立ち合いとしてその大学の道場に受け入れることを禁止します。

3.

大会当日に発熱、関、頭痛、倦怠感などの新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状が確認された場合も上記の 1,2 と同様をお願いいたします。

4.

大会 2 週間前以内に大学の部活内で感染者が発生した場合には東京都学生弓道連盟までご報告願います。その際は、その大学から他大学への立ち合いを派遣すること、他大学からの部員を立ち合いとしてその大学の道場に受け入れることを禁止します。

5.

上記の 1,2,3,4 以外でも部員に感染の疑いがある場合は、原則として立ち合いを他大学へ派遣すること、他大学からの立ち合いを道場に受け入れることを避けていただくようお願い申し上げます。

※上記の1,2,3,4,5の場合では直接道場に立ち合いを派遣することはできませんが、完全オンラインでの試合を行うことは可能になっております。

※上記1,2,3,4,5の場合では、東京都学生弓道連盟は試合を棄権することを視野にいれて検討をいたしますが、最終的な試合への参加、棄権の判断は各大学の定める基準に依拠するものとします。

※大会中においての感染が確認された場合、速やかに医療機関が濃厚接触者の特定を行うために、大会当日に道場に集まったすべての人の名前のリスト化をお願いいたします。

そのほか、以下の全日本弓道連盟が提示するガイドラインも必ずご覧ください。

https://www.kyudo.jp/pdf/notice/20200729_notice.pdf